

価値創造とマテリアリティ

マテリアリティ特定プロセス

2023年：マテリアリティ候補の選定

サクセッションプランの一つである経営力育成（上級）研修の課題として、研修メンバーがマテリアリティ候補を次のように選定し、経営陣へのプレゼンテーションを実施。

- ① 研修メンバーで討論を行い、当社グループに影響を与える社会課題、133項目を抽出
- ② 社会課題に対して当社グループは何ができるのかという視点（アウトサイドイン）と現在の事業で社会課題をどのように解決できるかという視点（インサイドアウト）でスクリーニングを行い、69項目に絞り込み
- ③ 69項目からキーワードを抽出、さらに当社へのインパクトとステークホルダーへの影響度で重要度を決定し、5つのマテリアリティ候補を選定

2024年：新たな企業理念と長期ビジョンとの関連性を確認

100周年を迎えるにあたり新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」を制定し、さらにその実現に向けた方針、方向性を示すものとして、新たな長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」を策定。2023年に選定したマテリアリティ候補が、「ASAHI-PHILOSOPHY」の中核であるパーパス、「情熱と技術で、世界をもっと最適に」および「ASAHI-VISION 2050」で掲げる目指す姿、「ワクワクする未来をカタチに～Imagination&Creativity～」を推進するにあたって矛盾しないか、不足するものはないかを確認。

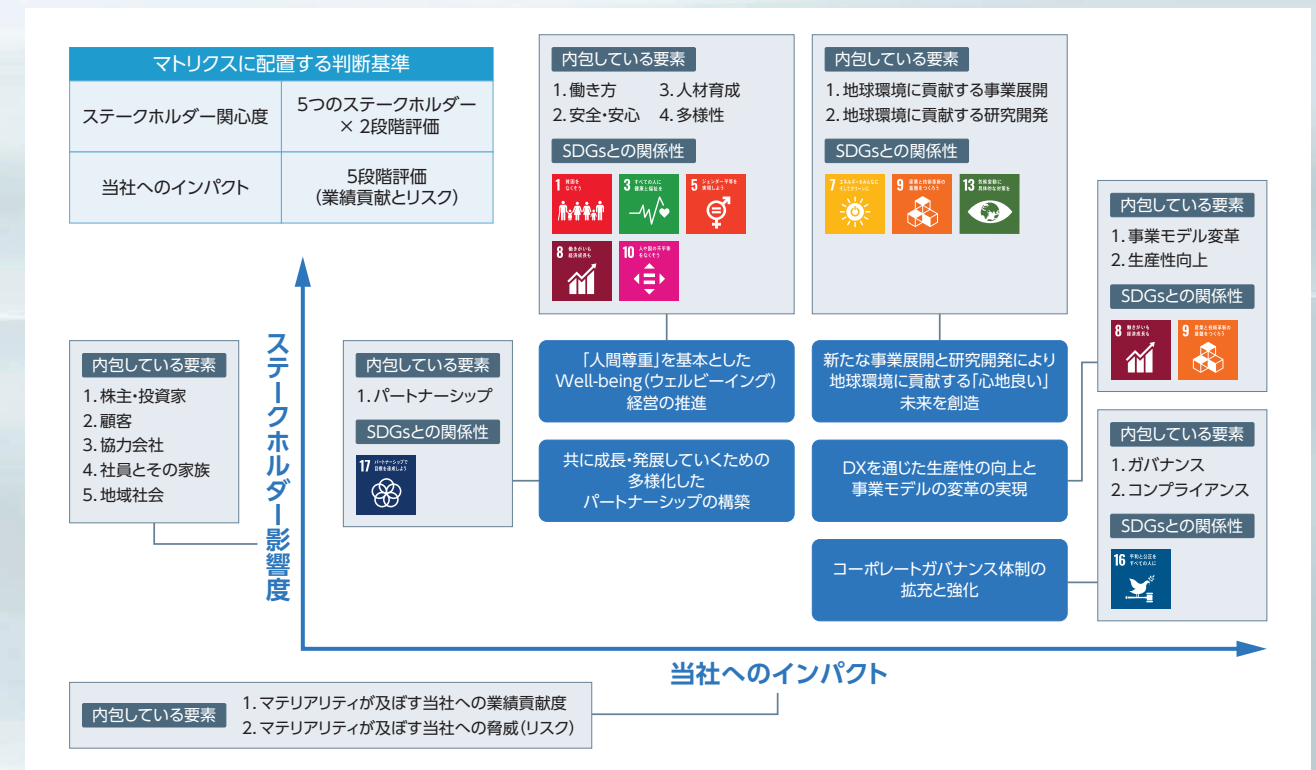
2025年：マテリアリティの特定

2023年に選定したマテリアリティ候補をベースに文言を整理、最終的に6つのマテリアリティを特定。事前に経営陣へのプレゼンテーションを実施し、取締役会での決議を経て2025年2月に最終決定

アウトサイドイン、インサイドアウトで抽出したキーワードの一部

- 新たな事業発展の機会創出
- 再生エネルギー（自然エネルギー）設備の研究開発
- 技術者の能力向上による人的資本経営の取り組み推進（人材育成）
- 省エネ技術の技術提案と開発
- 脱炭素の推進（カーボンニュートラル）
- 組織の透明性と公平性を担保するためのガバナンス体制強化
- 社員の働きやすさ及びエンゲージメントの向上
- 働く全ての人に安全な職場環境を提供
- 多様な働き方の提供
- 現場業務のDX化
- ダイバーシティ&インクルージョン施策の展開
- 協力的なパートナーシップを構築

マテリアリティ・マトリクスによる重要度の決定



マテリアリティと長期ビジョンと中期経営計画の関連

